

## 巨大傍鞍部内頸動脈瘤 Flow diverter 留置術後破裂の 1 例

### A case of fatal rupture of a giant internal carotid aneurysm after flow diverter treatment

赤路 和則<sup>1)</sup> 吉田 啓佑<sup>1)</sup> 木幡 一磨<sup>2)</sup> 堀越 知<sup>2)</sup>

1) 公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院 脳神経外科

1) 公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院 脳卒中科

【目的】Flow diverter 留置術翌日に破裂した巨大傍鞍部内頸動脈瘤の症例を経験したので報告する。

【症例】44 歳、女性。急激な右眼視力低下、右眼鼻側視野狭窄で発症。高血圧の既往あり。最大径約 29mm、neck 径約 11mm の未破裂右傍鞍部内頸動脈瘤を認めた。手術 2 週間前より aspirin 100mg、clopidogrel 75mg 内服。右内頸動脈閉塞試験を施行したところ、30 分間で症状出現なし、Stump pressure は閉塞前値の 67%。術前日、PRU 193、ARU 403。全身麻酔下で手術施行。術中、全身 heparin 化。Pipeline Shield 5.0mm x 30mm を脳動脈瘤遠位から近位にかけて右内頸動脈に留置。60cm の Ruby coil を 8 本挿入。術後 VasoCT で密着良好であったため、PTA を施行せず。術後 heparin 投与なし。術後 CT で頭蓋内出血を認めず、術後の症状経過問題なし、術翌日 MR で問題なし。MR 撮影後、突然、JCS300、両側瞳孔散大、CT で脳動脈瘤破裂による脳室内出血、くも膜下出血を認めた。両側脳室 drainage 術後、再出血予防のため右内頸動脈 coil 塞栓術施行。手術 6 日後に永眠した。

【考察、結語】Flow diverter 留置術翌日に破裂した巨大傍鞍部内頸動脈瘤の症例を経験した。UCAS Japan によれば、巨大脳動脈瘤の年間破裂率は 33.40%である。巨大脳動脈瘤に対する Flow diverter 留置術については、慎重に適応を検討するべきであると考えられた。